

護新

情報提供等や購読
申し込みは

TEL011(221)7777
FAX011(281)2678
Eメールkaigo@medim.co.jp

北海道発信の現場ニユース
中央情勢もタイムリーに

札幌市内を中心に道内でもサービス付き高齢者向け住宅が増加する中、生活相談員の質向上を目的にNPO法人シーズネットは九日から、「サービス付き高齢者向け住宅等相談員養成研修」

シーズネット

修をスタートした。養成研修は独自に検討を進めてきたカリキュラム・テキスト(暫定版)をもとに実施。修了者の効果測定などを通して内容を見直し、二五年度にカリキュラム・テキストを取りまとめる予定だ。

サービス付き住宅等相談員養成研修スタート



グループワークも行われ、家族の訪問を拒否する入居者への対応など悩みを共有した

独自カリキュラム・テキスト(暫定版)で実施

養成研修は国土交通省の本年度補助事業を活用。本年度から二年度の本年度補助事業年間かけ、道高齢者向け住宅事業者連絡会と「実践技術」事例検討・共同でカリ自己評価の「演習」で構成。カリキュラムは講義・演習五十時間で、ト作成を進働しながら学びやすい「生活相談員に期待される役割」を講義し

来年度取りまとめ確定

めている。仕組みとしてEラーニングも導入する。暫定版テキストは、こうした研修は道内南郷丘」の山崎加代子日々の実践初の試みだが、受講者でも活用では定員を上回る三十九人(住宅三十四件)開「マニユア設定含む)。初日は「窓口」になることが大▼地域包括ケアとサ付切な仕事」と強調。入

実践活用見据え「マニュアル」に

居者への対応方法などをアドバイスした。相談員が行う安否確認について奥田龍人同法人副理事長(同連絡会会長)は、身体症状が優れない人、認知機能が低下している入居者等に対し、「住まいとしてチームケアを行うプランが必要」と指摘。緊急対応時にも記録するよう呼びかけた。養成研修は三月九日まで実施。二五年には確定版のテキスト・カリキュラムで養成研修を行うほか、今回の研修修了者対象にフォローアップ研修も計画している。